

2016 年世界禁煙デー： プレーン・パッケージをめざそう

世界保健機関

2016 年 5 月 31 日

<http://www.who.int/campaigns/no-tobacco-day/2016/event/en/>

WHO とその協力組織は毎年 5 月 31 日を世界禁煙デー (WNTD) として、健康を損ねるタバコ使用を減らすための呼びかけを行っています。

今年の世界禁煙デーでは、WHO とタバコ規制枠組み条約の事務局はタバコ製品のプレーンパッケージ化を推進する運動を進めます。

タバコの箱をプレーン・パッケージ化 (訳注: タバコのパッケージの一切のコマーシャルデザイン (ロゴの禁止、ブランドネーを禁止し、商品名、本数だけの地味なテキスト表示だけを許可する措置) すると、タバコ製品の「魅力」をアピールし、タバコ使用で健康が損なわれることはないという誤った情報の拡散を防ぐことができ、有害警告表示の効力を強めることができます。

タバコ製品のプレーン・パッケージ化とは、タバコ箱に地味な配色でタバコ製品の名称と会社名だけの表示を許可し、タバコ製品の消費を促進する機能のあるタバコ製品のロゴ、彩色、ブランドイメージの表示を禁止する措置です。

タバコ規制枠組み条約第 11 条および第 13 条では、締約国にプレーン・パッケージの実施を勧告しています。

プレーン・パッケージは、タバコ規制のための包括的他部門的対策の一部として実行されます。政策立案者、市民社会ならびに一般市民国民の皆様が、自国政府に対してプレーン・パッケージ実施を働きかけるようお願いいたします。

プレーン・パッケージ導入運動の現況

プレーン・パッケージ導入の機運は世界各国で高まっています。

- 2012 年 12 月、オーストラリアがプレーン・パッケージを世界で最初に導入した国になりました。
- 2015 年、アイルランド、イギリス (UK)、フランスが 2016 年 5 月からプレーン・パッケージを導入する事を決定しました。
- 多くの国々がプレーン・パッケージ導入に向けた法律の整備を目指しています。

2016 年世界禁煙デーキャンペーンの目標

2016 年世界禁煙デーの目指すもの:

- 包括的タバコ規制活動の中で、プレーン・パッケージが果たす役割を広める
- プレーン・パッケージ導入がタバコ消費を減らすうえで、極めて重要な役割を持つことを、実践的証拠によって証明し、FCTC 締約国がそれを実行し、世界全体にこの政策が広まるようにする
- FCTC 締約国が、タバコのパッケージとラベリングおよびタバコ製品の宣伝、販売促進、スポンサー活動に対する規制を強化し、プレーン・パッケージ導入を段階的に実行するよう勧奨する
- プレーン・パッケージ法令を導入するための締約国政府と市民団体の活動を妨害するタバコ産業の活動を封じる

以上